

東三河支部

東三河支部総会開催

東三河支部（鬼頭秀幸支部長）第27回支部総会が開催されました。

- 日 時：令和3年4月19日（月）午後4時
- 会 場：ホテルアークリッシュ豊橋4Fテラス
（豊橋市駅前大通）
- 出席者：23社 委任状34社
合計57社 / 正会員数74社

- 第一号議案 令和2年度支部事業報告、収支決算報告、剰余金処理承認、監査報告
- 第二号議案 役員改選及び役員構成承認
- 第三号議案 令和3年度支部事業計画承認
令和3年度支部活動スケジュール承認
令和3年度支部収支予算承認

令和3年度事業計画

世界中を脅かしている、新型コロナウイルスには、東三河支部会員の皆様にも不安とやりきれない憤り等、複雑な心境であることと思います。今年度中に収束を迎えることを切に願う次第でございます。

さて、本年度は30周年を節目に名称が一般社団法人愛知県産業資源循環協会（以下愛産協）と変わって、気持ち新たにスタートを切る年となりました。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で全ての事業が行われたわけではありませんが、東三河支部として、徹底したコロナ対策をしたうえでの例会を開催することができました。中でも東三河支部会員や田原市、地元住民の方々の協力で不法投棄物撤去作業が、20年以上の実績を途切れさすことなく実施できたことは、とても嬉しかったです。愛産協からも高い評価を受けることが出来ました。誠に感謝申し上げます。

とはいえ、本年度もコロナ禍の中で、事業をすすめていかねばなりません。ワクチンの接種も始まり、収束の期待が高まっていますが、油断することなく、昨年度に満足な事業が出来なかった例会等を丁寧に実施していきたいと考えています。引き続き業務継続計画の具体的な実践方法やSDGsの理解を深めていく研修会等の例会を開催し、また行政、地元住民と一体となって不法投棄物撤去作業を実施し、東三河地域の人々にも更なる理解を深めていただきたいと思います。

これらの活動をスムーズに運営していくには、東三河支部会員のご協力とご理解を持って成り立ちます。昨年度同様の東三河支部会員のお力を借りる事をお願い申し上げ、本年度も下記の内容に重点を置いて取り組んでいくこととします。

1. 【総務運営部会】
東三河支部会員の組織力向上と連携強化
＜研修指導委員会＞
廃棄物処理法や関係法令の改正に対応した知識の習得や循環型社会構築に向けて様々な要求に対応して、広い視野を持てるように、施設見学や講習会を通して、研修を行い支部会員の資質向上を図る。
2. 【事業部会】
協会各位の事業活動の円滑化と、健全な発展を維持し、業界の意識高揚を図る。
＜適正処理委員会＞
会員企業をはじめ、業界ではほとんどの企業が廃棄物の適正処理を旨として活動しています。産業廃棄物を通して、資源の活用を考え適正な処理をすることは持続可能な社会の実現、すなわちSDGsに大きくかかわります。
・不法投棄物撤去作業の実施
場所の選定においては、不法投棄防止パトロールの結果を参考にし、行政窓口を訪問して実態調査を行い、調査資料を基に決定する。作業方法や内容は、行政窓口、地域住民とともに検討調査の上、コロナ対策を万全に行い限られた時間内に完了できるよう作業効率の良い安全な作業方法で実施する。
＜中間処理委員会＞
東三河支部会員が廃棄物処理法並びに関連法令の知識を深め、より業界全体のレベルアップにつながる適正処理を目指していきます。
【企画委員会】
会員の意見を集約するとともに、支部活動のスムーズな運営のための検討をする。

■平成3年度 支部役員

支部長	鬼頭 秀幸	(有) リサイクリング産業
副支部長	竹内臨通夫	三州建設 (株)
副支部長	清水 宏臣	(有) 清水商店
幹 事	彦坂 真樹	(株) エムエムアイ
委 員	松井 忠博	(有) 松井工業
委 員	酒井 正樹	(株) 加藤解体工業
委 員	富田 雅則	田原環境サービス (株)
委 員	宮澤 光	サーラ物流 (株)
委 員	洪本 雅昭	(株) MARUKO
委 員	金海慶太郎	(有) ビソ〜環境
委 員	津田 治秀	(株) ダイワ
委 員	井本 佳宏	(株) イモト
委 員	柏原 宏人	加山興業 (株)
監 査	長崎 正敏	(株) トヨジン
会 計	伊藤 良文	(株) マルサワ